

① 通級指導教室って、どんなところ？

→ 学習面や生活面で困っている子どもの特性を理解し、得意な部分を生かして、苦手な部分を改善・克服し、一人ひとりの状況に応じた指導をします。

- ・子どもたちは週1・2時間程度、通級指導教室に通います
- ・本人、保護者、通級指導教室を担当する先生と学習面や生活面での目標を考えて、その子どもにあった取り組みをします



② 通級指導教室はどの学校にもあるの？

→ 市内すべての小・中学校に通級指導教室があります。

③ 子どもが感じている苦手って、どんなこと？

→ 苦手の種類は実に様々です。

たとえば・・・

- ・文字や文章の読み書き、計算が苦手
- ・急な予定変更、コミュニケーションが苦手
- ・感覚が過敏または鈍感
- ・集中できない、忘れものが多い、うっかりすることが多い
- ・思うように体を動かさない
- ・思いつきで行動してしまう
- ・人との距離感を適度に保てない



④ 実際にどんなことをしているの？

→ 一人ひとりの特性に寄り添ったトレーニングを行っています。

たとえば・・・

「漢字を正しく覚えて書くことができない」

【細かいところを正確に見るのが難しい場合】

→ 点つなぎやパズルで空間を把握するトレーニング、間違い探しや目のスムーズな動きのトレーニング、唱えながら形を意識して書いてみること(例:「カタカナの『イ』『ロ』と漢字の『木』で保育所の保」)も効果的なことがあります。

【意味を考えながら覚えていない場合】

→ へんやつくりで意味を大きくつかみます。「ごんべんの付く漢字は、言葉に関する」ということを確認し、ほかのごんべんの付く漢字を探します。絵カードを使って漢字と意味をセットで覚えます。



通級指導教室

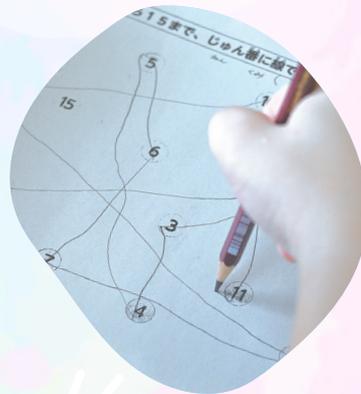
通級指導教室を覗いてみました！

9月のある日、南第三小学校の通級指導教室「ラブリン」(教室の名前は学校によって異なります)に行ってきました。

「ラブリン」で学習している子どもたちや先生の声を紹介します。

みんな楽しそうに「ラブリン」
に来てくれています。

一人ひとりの特性に寄り添いながら、それぞれがホッとできる空間にできるよう心がけています。



阿部 実香 先生

「ラブリン」での学習は楽しいです！
「ラブリン」に来て、嫌いだった
社会の勉強がわかるようになり、
好きになりました！



Aさん

できなかった九九の計算
ができるようになって
うれしいです！

私も「ラブリン」での
学習が楽しいです！



通級指導教室の学びの中で、
子どもたちがとても成長して
いると感じています。
気になることがあれば、気軽
に相談してください！



Bさん

気になることがあれば、
まずは、**学校に**
相談してください



市役所学校教育グループ
荒木 沖野



久堀 里巴 先生

その子は「わがまま」を言ったり、
「さぼっている」のではなく、困っているのかもしれない。

学習面や生活面で困っているのかも・・・と感じる場合には、まずは学校に相談してください。学校には、担任の先生だけでなく、支援の相談窓口となる教員がいます。